

ルチアある

地域の中の 特集 聖ルチア病院



- 「新年挨拶」 理事長 大治太郎
- FOCUS／新しいうつ治療「rTMS療法」
- 聖ルチア病院のプロフェッショナル「地域医療連携室」



「地域の健康と幸福」を目指し
一歩踏み出す一年に。

社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院 理事長 病院長 大治 太郎

5つのチームで専門性を高める

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院ではこれまで「精神科の総合病院」を目指してきました。精神科疾患は小児の発達障がいから認知症まで年齢層も広く、疾患や治療も多岐にわたります。そのそれぞれの分野で専門性を高め、特に難治性や重度の患者様を受け入れ、適切な治療を提供できる体勢を整えています。

具体的には「統合失調症」「うつ病」「認知症」「児童思春期」「依存症」の5つについて、多職種によるチーム

を編成し、最新の治療や、社会復帰への支援を追求しています。そのそれぞれのテーマについては、この「ルチアめーる」で、次号から一つずつしっかりとご紹介していく予定です。

それぞれの分野で専門性を追求する中で、昨年も「反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS療法)」という最新のうつ病治療の開始や、児童思春期病棟の新設など、新しい取り組みが始まりました。統合失調症や認知症については、二次性疾患(もとの病気が原因で、別の疾患を合併してしまう場合)を防ぐために、綿密な検査で診断をして、適切な治療計画を立てています。アルコール依存

症や薬物依存症については、行政機関や久留米医師会と協力して防止や治療に注力してきました。近年ではゲーム依存症などの新しい依存症も出てきていますが、これには入院治療が効果的なこともわかり当院でも導入しています。

春には予定していた病院の改築が終了し、病棟機能の整理も完了します。こうした動きの中で、2021年は、近年種をまいてきたことが芽を出し、ホップからステップに進む節目の年となると期待しています。

多職種による
チームを編成



聖ルチア病院では5つの専門チーム制で各分野の専門性追求に取り組む

地域の「健康と幸福の実現」を目指す

昨年は十数年ぶりに病院理念を見直し、従来の「私達は、患者様一人一人のために、信頼される、最良の、心温まる医療サービスを提供します」の文言に「地域の健康と幸福に寄与します」と加え、結果を出すことを理念として明示しました。

これを達成するため、今年はいままで以上に、当院か

ら地域に出て活動する年をしたいと考えています。これまでも、福岡県や久留米市と共に地域の課題を解決するための事業に取り組んだり、児童相談所や拘置所などでも相談や治療に携わってきました。今後はさらに職員一人一人が意識的に病院の外に出て、地域の健康と幸福のために活躍してほしいです。

新型コロナウイルス禍で患者様を守るために

昨年中は新型コロナウイルスという大きな脅威に見舞われ、医療・福祉に従事する皆さまにおいては困難な状況に直面しながら、奮闘されたことと存じます。

精神の分野では、生活様式の大きな変化によりうつ病患者が増加し、当院では特に学生や若い患者様が増えました。学校に登校できず、友人などとの接触が激減した一方で、親子や家族との接触が極端に増えたことで、ストレスが蓄積されたことも要因です。また失業や経済的な不安など、より逼迫した問題も山積しています。

全国的にも自殺者と自殺未遂の件数が増加しており、これらを未然に防ぐための対策を、今年もより一層力を入れて取り組むべき課題と考えています。皆さまにおかれましても、患者様に気になることや心配なことがあるときには、どうかお早めにご相談ください。

最後になりましたが、弊誌「ルチアめーる」は、ご協力頂いている地域の医療機関や介護施設、行政機関、教育機関の皆さまにむけた広報誌です。関係機関の皆さまに有益な情報を発信するため、今号からリニューアルを図りました。地域の健康と幸福を守るため、協力しあえる関係づくりの一助となればと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。



2021年春に病院全体が完成する



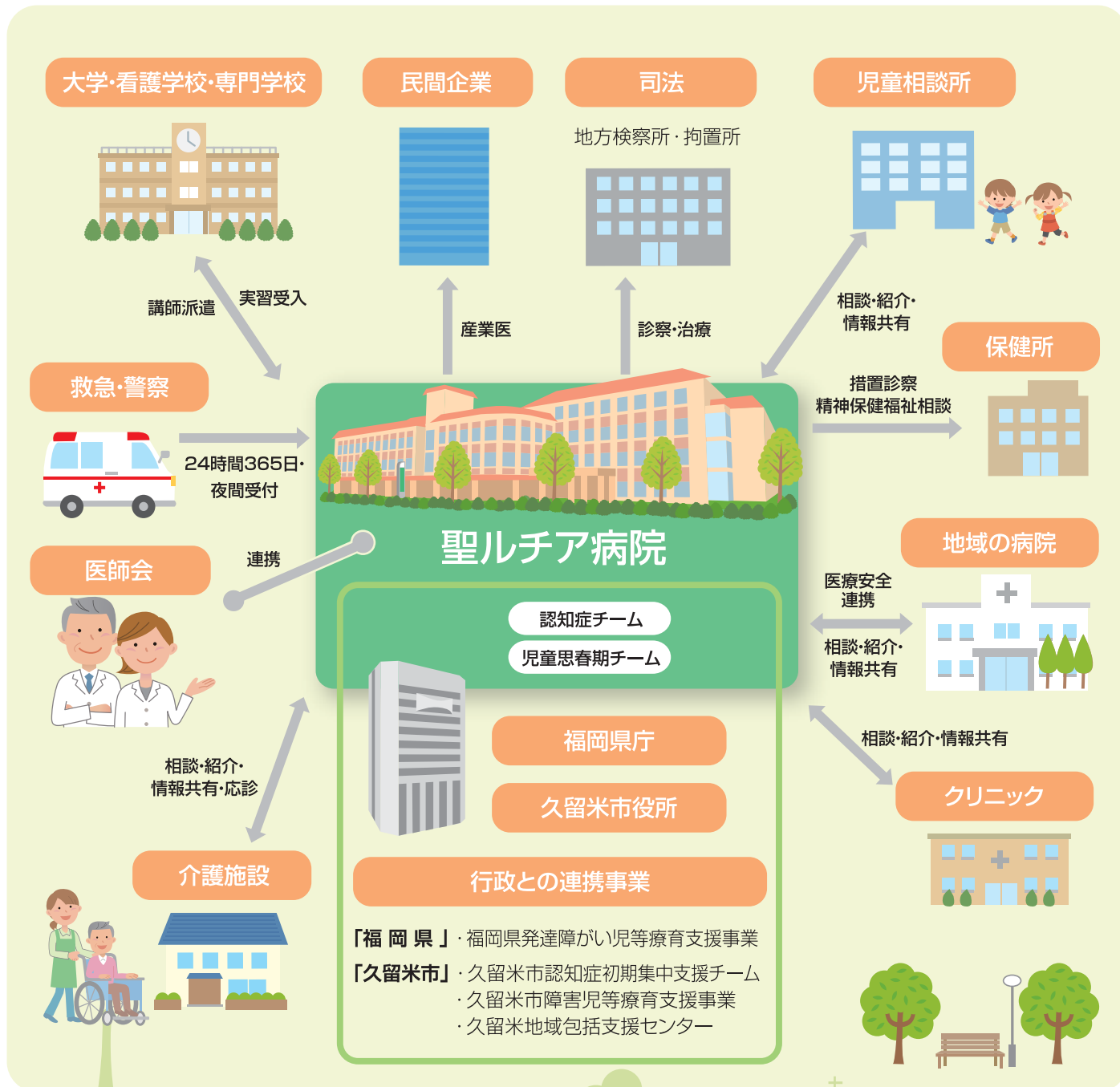
地域の中の聖ルチア病院



聖ルチア病院は、病院内での治療だけでなく、院外でも地域の多くの施設や団体と共に活動しています。

民間企業などで産業医としてメンタルヘルスのサポートすることはもちろん、司法や児童相談所などにも出向き、相談や診察、治療にあたります。福岡県や久留米市から委託を受けている「障がい児等療育支援事業」「久留米市認知症初期集中支援チーム」では、相談を受けて介入が必要かを判断し、必要な場合は適切な支援機関や、治療、地域の介護サービスなどに繋ぐ役割を担っています。

また、将来を担う医療従事者の育成のため、専門職を育成する学校で講師を務めたり、学生の実習を受け入れたりしています。これからももっと地域に出て、地域のためになる活動の幅を広げていきます。



民間企業のメンタルヘルスサポート

副院長・医師 **櫻井 斉司**

従業員の皆さんが健康で快適に仕事に励めるよう、精神科医として専門的な立場からアドバイス・指導などを行っています。企業の活性は地域の発展にも繋がります。そういう意味で従業員の皆さんのメンタルヘルスを守る私の役割は、重要だと考えます。



久留米児童相談所の嘱託医

医師 **坂本 奈緒**

児童相談所で行われる月1回のケースカンファレンスで、子供や保護者、施設職員等に医療的な立場からの助言を行っています。医療の必要性がある場合は、受診も促しています。児童福祉関連機関との連携事業では、児童福祉の問題やニーズにも気が付かされ、とても勉強になります。



患者様と職員を守る医療安全管理者

病棟師長(看護師) **中山 暁文**

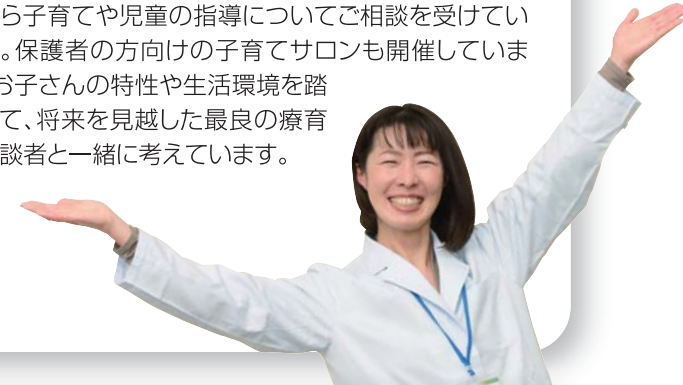
安全で安心な医療が提供できるよう、医療安全管理業務に取り組んでいます。職員研修はもちろん、当院の医療が安全かつ適切に行われているかを確認するため、外部の病院と連携して第三者の立場で評価してもらっています。ヒヤリ・ハットの情報収集、分析、対策立案、実施、評価をして事故防止に努めています。



福岡県&久留米市との連携事業 発達障がい児等療育支援事業担当

精神保健福祉士 **中野 紀子**

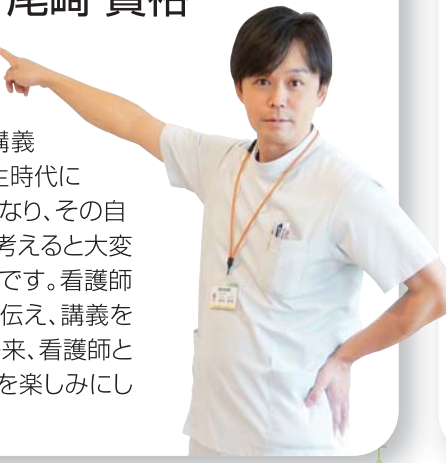
県と市の委託を受け、ご家庭や学校、保育園、福祉事業所から子育てや児童の指導についてご相談を受けています。保護者の方向けの子育てサロンも開催しています。お子さんの特性や生活環境を踏まえて、将来を見越した最良の療育を相談者と一緒に考えています。



看護学校で非常勤講師を務める

病棟副師長(看護師) **尾崎 貴裕**

精神科の看護師として、患者や家族の心理について講義しています。看護学生時代に憧れていた看護師になり、その自分が講義していると考えると大変身が引き締まる思いです。看護師のやりがいや魅力を伝え、講義を受けた学生が近い将来、看護師として活躍されることを楽しみにしています。



久留米市との連携事業 久留米市認知症初期集中支援チーム担当

精神保健福祉士 **森川 愛子**

久留米市や地域包括支援センターの依頼を受けて、認知症またはその疑いがあり、医療や介護サービスに繋がっていない在宅高齢者を訪問しています。認知症であっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、支援機関と協力し必要な医療や介護サービスに繋ぐ橋渡し役を担っています。



うつ病の治療は、一般的に抗うつ薬が主流ですが、薬が効かない方や、副作用に悩む方も多くいます。当院では、抗うつ薬以外の治療法を積極的に取り入れています。軽度であれば「認知行動療法」「マインドフルネス療法」などです。

さらに昨年より、最新の治療機器を導入し「**rTMS療法**」による**新しいうつ病治療を開始しました**。これは中等度以上の方にも効果が認められており、投薬による治療が難しい患者さんへの治療法として期待されています。

今回のテーマ

新しいうつ治療 rTMS療法

(反復経頭蓋磁気刺激療法)



rTMS療法 Q&A

Q 「rTMS療法」はどんな治療ですか?

A 「うつ病」は心の疾患ではなく、脳の疾患だと言われています。rTMS療法とは、うつ病によって脳の機能が損なわれている部分(左背外側前頭前野)を刺激し、脳の機能を回復して、うつ病の回復をはかる方法です。

Q rTMS療法を受けられる患者、受けられない患者はどのような人ですか?

A **《治療の対象となる方》**
 ※18歳以上
 ・中等度以上のうつ病
 ・抗うつ薬治療で効果が認められない方
 ※治療適応の判断は、専門外来で医師が個別に行います。

《rTMS療法を受けられない方》
 ※18歳未満の方
 ・心臓ペースメーカーをつけている方
 ・人工内耳をつけている方
 ・磁性体クリップをつけている方

Q 保険適用の治療ですか?

A 各種健康保険が適用となります。(費用のイメージをホームページに掲載しています。詳しくは病院スタッフにおたずねください。)



▲資料

Q 治療効果の有効性は?

A 世界の臨床試験の結果、抗うつ薬治療で効果がない患者さんの3割から4割が、抗うつ薬と同等の治療効果があったと報告されています。

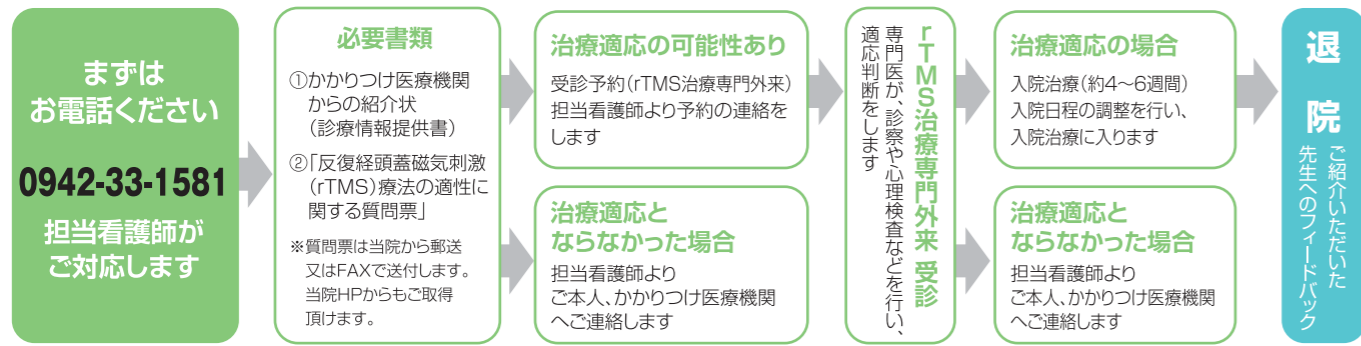


こんな患者さんはいませんか?

・抗うつ薬が効きにくい ・副作用で薬が飲めない

ぜひ一度ご相談ください。
 rTMS療法に関するご質問があれば、遠慮なくご連絡ください。

rTMS療法までの流れ



rTMS治療専門外来日 毎週 火曜日午前・木曜日午前 <担当看護師 山口久保>

子育てサロン「シフォン」 毎月第2火曜日に開催

子育てサロン「シフォン」は、子どもの保育園や学校、将来についてなど、同じ悩みを抱える保護者の皆さんや専門スタッフとゆっくりお話する会です。発達障がいや不登校、そこまではなくてもお子さんのことで悩んでいる保護者の方、無理にお話しなくても大丈夫です。一度見に来てみませんか?



対象：福岡県在住の保護者さま
 (当院に通院・入院されていない方も構いません)
 定員：10名程度
 日時：毎月第2火曜日 14時~15時30分
 会場：訪問看護ステーションクローバー1F
 (聖ルチア病院隣接)
 料金：200円(資料・お茶・お菓子代)

お問い合わせ先 (担当：中野、中原、美濃部)

聖ルチア病院 0942-33-1581

「家族心理教育」を再開しました!



障害を抱えた方のご家族が集い、様々な悩みや不安について話すことができる場所です。参加されたご家族からは「元気に生活する力になっている」との声をいただいています。コロナ禍のため休止していましたが、11月より再開しました。ぜひご参加ください。

対象：当院に通院または入院されている患者様のご家族
 日時：毎月第1土曜日 14時~16時
 会場：聖ルチア病院内

お問い合わせ先 (担当：槇、柳瀬)

聖ルチア病院 0942-33-1581

新型コロナウイルス 感染防止対策について



入館受付では、サーモカメラを導入し、自動検温を行っています。また外来診療では、自動受付機での受け付け、呼出しシステムでの診察案内と会計案内を行い、患者様が安心して受診できる環境を整えています。今後は新型コロナウイルスのほか、インフルエンザの流行時期となります。ご来院の際は、引き続きマスクの着用と手指消毒など、感染防止対策へのご協力をお願いします。

心理カウンセリングルームが 新しくなりました



南館4階に新たに心理カウンセリングルームとプレイルーム専用の空間を設けました。ご利用いただく皆様リラックスできる環境を整え、心理カウンセリングの質の向上に努めています。

【お願い】
 院内では引き続き、治療環境の整備のため、4月まで工事が続きます。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



構成メンバー：精神保健福祉士13人

精神保健福祉士ってどんな人？

通称：精神医療ソーシャルワーカー、PSW(以下、PSW)

精神保健福祉士資格は国家資格。精神上的の障がいを抱える本人や家族を対象に、治療上の問題解決や社会復帰支援を行います。

医療ソーシャルワーカー(MSW)の仕事と似ていますが、PSWは対象が精神障がい者に特化したスペシャリストです。

地域医療連携室では、受診相談、インテーク(初診時面接)、相談援助業務等を行い、様々な関係機関と連携しながら、患者様が安心して生活を送れるよう福祉的視点に立って支援しています。病棟には担当PSWを配置し、社会復帰に向け患者様に応じた福祉サービス等の情報提供を行い、福祉制度との橋渡しをしています。また、地域の病院、診療所、施設に定期的に訪問し、患者様への円滑な支援のため相互連携が図れる関係をつくることも役割の1つです。

患者様に不利益がないよう、何よりも患者様の気持ちを大切にしながら支援していきたいです。



1階の相談窓口の中が仕事場。退院した方にも声をかけて、必要な支援を継続する。

連携先の皆さまへのメッセージ

患者様に当院を受診してよかったと思っただけのためには、かかりつけ医の先生方と、顔の見える関係を築くことが重要だと考えています。ご指導賜りますようお願い致します。



《対象疾患例》

統合失調症

気分障害
(うつ病)

認知症
関連疾患

児童思春期
発達障がい

依存症
(アルコール・薬物)

周産期の
メンタルヘルス

てんかん

摂食障害

《診療時間》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)	○	○ rTMS 専門外来	○	○ rTMS 専門外来	○	○	×
14:00~17:00 (受付時間 13:00~16:00)	○	○	○	×	○	×	×

早期介入による重症化予防で 社会復帰を支援します

精神的な問題は、症状が軽い初期の段階で適切な対応や治療をすることで、重症化を防げることがあります。貴院の患者さんに心配なことがあるときには、お気軽にご相談ください。共に患者さんに寄り添い支援させていただきます。



社会医療法人 聖ルチア会
聖ルチア病院

St. Lucia's Hospital

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町1012

TEL0942-33-1581 (代表)

FAX 0942-33-1586

関連施設

- ・精神科デイケア、デイナーケア、ショートケア
- ・重度認知症患者デイケア すずらん
- ・訪問看護ステーション クローバー
- ・訪問看護ステーション クローバー おおき
- ・グループホーム ルピナス

